

埼玉県立大宮中央高校・通対 千葉県立市川工業高校

■球場 大田スタジアム 第3試合 5回戦 準決勝 ■試合時間 1時間52分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:並木 塁審:松山 遠藤 清水

[illegible]

市川工

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
村松正悟
渡辺 榎志

捕手

吉原勝樹

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
村 松 正 悟	3	16	8	1	1	5
渡 辺 柁 志	3	16	6	0	2	1

大宮中央・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
粕谷 舜
矢野尾 佳 純

捕手

加藤 巧

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
粕谷 舜	5	19	3	4	1	0
矢野尾 佳 純	2	7	0	2	1	0

■ 戦評

準決勝第1試合は、埼玉県代表の県立大宮中央高校と千葉県代表の県立市川工業高校という関東勢同士の戦いとなった。先制したのは大宮中央高校。1回裏、2つの安打によって1点を奪う。一方の市川工業高校は3回表、得点圏に走者を送るものの、後続を討ち取られて反撃の芽を摘まれてしまった。その裏の大宮中央高校の攻撃は、走者一人を置いて2番打者羽根田がレフト線ギリギリの打球を抑え、この打球は市川工業高校の中継の乱れを誘い、羽根田は本塁まででも奪う好走塁を見せる。結局、この回の大宮中央高校はこの2安打を含む6連続安打によって4点を追加して5対0とした。さらに、続く4回裏にも四球などによって走者満塁の場面で4番打者丸山が走者一掃の三塁打を放ち3点を追加し8対0とし、試合を決定づけた。そして6回裏に1点を追加して、14安打9得点という猛攻を行い大会規定による7回コールドゲームとして勝利を収めた。一方の市川工業高校は、得点圏に走者を送るものの、大宮中央高校の先発粕谷投手、救援矢野投手の好投によって3安打と抑え込まれて得点を奪うことができなかった。